令和４年１月 26 日

令和３年度　第３回　学校運営協議会

＜運営協議会委員＞

名　　前	職　　名
松　宮　新　吾	追手門学院大学教授
河原林　昌　樹	弁護士
橘　　朋　伸	門真市立第二中学校長
三　村　泰　久	門真市立脇田小学校長
髙　山　拓　也	門真市教育委員会
桐　山　千　明	門真なみはや高校ＰＴＡ会長

＜事務局＞

瓜　生　彩子	教頭	桂　田　　光	生徒指導部長
久　森　雅　代	事務長	松　村　尚　之	生徒会指導主担
宮　薗　賢　二	首席・３学年主任	黒　田　いつみ	保健部長
山　村　裕　子	首席	藤　田　和比郎	総務部長
加　藤　勝　哉	教務部長	小　田　　悟	２学年主任
野　村　明日香	進路部長	山　田　浩　二	１学年主任

＜開催日時＞　令和４年１月 26 日　　15 時 15 分～16 時 30 分

＜内容＞

〇学校長挨拶

〇議事

＜審議事項＞

１　令和３年度学校経営計画及び評価について

２　令和４年度学校経営計画について

３　学校教育自己診断について

４　第２回授業アンケートについて

５　教育活動に係る保護者からの意見について

＜報告事項＞

１　今年度の教育活動のふりかえりについて

＜審議事項＞

① 令和３年度学校経営計画及び学校評価について

成果等評価について説明

＜意見＞

・学校教育自己診断を見るときに、正規分布で見ると、第一評価が25～27%をこえていれば、良い方向に進んでいると考えられ、おおむね良い数値といえる。40～50%を超えているところはかなり高い。学校教育として取り組みはいい形といえる。

⇒原案で承認

② 令和４年度学校経営計画について

めざす学校像は変更なし。

次年度新たに設定した目標及び数値目標の設定について説明

＜意見＞

・（数値目標の設定について）学校教育自己診断に回答する側からすれば、「よくあてはまる」と答えることを遠慮してしまう。どうしても心情的には「ややあてはまる」だと答えやすい。第一評価にこだわらず、肯定的評価を指標にしてもいいのではないか。

・第１評価をいかに高めるか、学校として工夫していく必要がある。

⇒原案で承認。

③ 学校教育自己診断について

保護者からの意見の中で、令和３年度学校経営計画及び学校評価の中で説明、その他、学校のトイレ老朽化やエアコンの設定基準についての多かったこと、制服、頭髪等の指導については、必要なしという意見と、必要という意見で分かれたことを説明。

＜意見＞

・生徒の規範意識については、授業の工夫などとは違い否定的な数値が多い。生徒の納得度を高めるチャレンジをお願いしたい。

・規範意識を高めるために、ルールについて考える機会を設け、当事者意識を高めるために議論するのはいいことだと思う。

⇒原案で承認。

④ 第２回授業アンケートについて（報告）

＜意見＞

・担当者の年齢にもよるが、授業の改善に取り組んでほしい。

・新学習指導要領に基づき、授業を充実させてほしい。

⑤教育活動に係る保護者からの意見について

・新たな意見はなし（報告）

＜報告事項＞

〇今年度の教育活動のふりかえりについて

　各学年、分掌より今年度の取り組みについて報告。